

「木曾の最期」内容把握問題

現代語訳をおこない、傍線注釈しながら、次の問も考えましょう。

問一、次の登場人物はどの軍のどういう立場か。簡潔に記しなさい。

- (㉔)今井四郎 ()
- (㉕)木曾殿 ()
- (㉖)兼平 ()
- (㉗)義仲 ()
- (㉘)鎌倉殿 ()
- (㉙)三浦の石田次郎為久 ()

- 問二、 どうして鎧が重くなったのか？ ()
- 問三、 「御身」とは誰の体か？ ()
- 問四、 「重くない！」と今井四郎が言っているのはなぜか？ ()
- 問五、 の文にあてはまる四字熟語は？ ()
- 問六、 どうして自害を勧めているのか？ ()
- 問七、 「君」とは誰か？ ()
- 問八、 木曾殿のこの時の望みは何か？ ()
- 問九、 の表現は と違うがなぜか？ ()
- 問十、 どうなると残念だというのか？ ()
- 問十一、 ・どうして今井四郎はここで「名乗り」をしたのか？ ()
- 問十二、 ・誰にお目にかかるのか？ ()
- 問十三、 ・何を「打つ」のか？ ()
- 問十四、 ・何を太刀の先に貫いて、高く差し上げたのか？ ()
- 問十五、 ・何のために「名乗り」をしたのか？ ()

・現代語訳 「こうして、栗津の戦は終わったのだった。」

例に従い、次の表に敬語を全てまとめなさい。

	敬語(終止形)	種類・品詞	現代語訳	敬意の方向
	のたまひ(のたまふ)	尊敬・動詞	おっしゃる	著者から木曾殿
	申し(申す)	謙譲・動詞	申し上げる	著者から木曾殿
	させたまは(さす+たまふ)	尊敬・助動詞+補助動詞	おゝになる	今井四郎から木曾殿
	候は(候ふ)	丁寧・補助動詞	ませ(ん)	今井四郎から木曾殿
				から
				から
				から
				から
				から

[illegible]